

令和5年度第1回魚沼市男女共同参画推進委員会 会議録

日 時	令和5年6月19日(月) 15時25分～16時35分
場 所	本庁舎3階 議会会議室
出席者	【委 員】 星敏夫会長、山内由美副会長、堀川祐里委員 星靖子委員、坂本淳委員、横山セツ子委員、奥田千佳子委員 【事務局】 企画政策課 五十嵐課長、馬場係長、内田主任

(会議の要旨)

1 開 会 (15:25)

2 あいさつ

3 自己紹介

4 議 事

会長・副会長の選出について

設置要綱に基づき、会長、副会長は委員の互選により定めることとなっているため、立候補や推薦等の意見を委員に求めたが、立候補や推薦等がなかったため、会長に星敏夫委員、副会長に山内由美委員を事務局案として提示し、委員全員の承認を得た。

5 報 告

魚沼市男女共同参画推進計画における令和5年度推進事業について

(事務局)

配布資料「魚沼市男女共同参画推進計画における令和5年度推進事業について」を説明。

(会長)

事務局の説明について、質問や意見はあるか。

(意見なし)

事務局から各種審議会等の女性の登用と地域における女性の役員について意見をいただきたいということなので、皆さんから意見をいただきたい。他の意見でも構わないがどうか。

(委員)

魚沼の人は控え目な方が多いが、その一方でいろいろなところで女性が活躍して、いろいろな事をやっていると感じている。それが表立って出てこないのはなぜかという感触がある。役職とか何かの代表に女性が就くとなると遠慮するのに、その一方ですごく何かをやっているというギャップを最近すごく感じるようになった。だんだんと役職に就くことへのハードルが下がっていると思うが、まだまだ緩やかな下がり方だと思う。

(委員)

所属しているコミュニティ協議会の活動で、笹団子づくりをした。子どもとその親、おじいちゃん、おばあちゃんもいて各年齢バランスよく60名ぐらい参加していた。とても楽しい、いい会だったと思う。来月はホテルを見に行く会もあり、家族で参加できる行事をどんどん増やすことで、コミュニケーションも取れていいのではないかと感じた。

(会長)

普段の付き合いの中で関わっていけば、私もやってみようかなというふうになるかもしれない。

(委員)

集落等の役員でそこに女性が入っていきづらいという部分に関して、集落の総会に出てくださいと言われてるのが、大体が世帯主という概念で出ているイメージがあるので、世帯主イコール大体が男性なので、そのまま名前が上がってくるのも男性になってしまう。果たしてそれが、女性の社会進出が妨げられているかということそれはちょっと違うのかなと思う。集落の役員は、逆に誰もやりたくないということのほうが多いのかなと感じている。集落、自治会の活動に対して女性の進出が少ないというのであれば、世帯主という一つの括りから見直さないとなかなか変わっていかないのではと思う。出たい女性はしっかりと出ているし、活動をしている女性は多いという感想はある。そういった方たちにもっとスポットを当てて、例えば行政の方からバックアップをしてその方たちを候補にするとか、認知される場面が増えれば増えるほど、今までイレギュラーだったものが常識に変わっていく、当たり前になっていく。当たり前にしていくことがすごく大事だと思う。

(委員)

男女差をあまり意識したことがなかった。子どもの通う学校行事などで保護者が参加したり、役員をやるとなったときに、夫が行くこともあれば私が行くこともある。役員も会長だから夫がやるとかそういうことを意識しないで生活しているので、問題とか考えたことはなかったが、確かに自治会長とか地域に出ていく会で、70代くらいの方が集まる会は男性ばかりだと思うが、自分たちがその年代になった時には女性もやると思う。私の地域には婦人会があり、自治会長は別

のところから出すというイメージがあるから男性からしか出していない。組織の在り方の問題だけだと思う。そういう認識しかない。これからの世代はそんなに問題にならないと思う。

(委員)

計画冊子の23ページを見ていたが、現状と課題というところで市の審議会・委員会等に占める女性の割合が、30%に届いていませんと書かれてある。組合でも女性の参画率30%を目指しているが、20%に達していないと思う。組合の役員なので、女性の役員を増やしたくて声を掛けるが、先入観を持たないようにしている。例えば、結婚しているからできないとか子どもがたくさんいるからできないとか、逆に、結婚していないから役員ができるとか、そういうのは考えないようにしている。大体、女性の方は遠慮して無理というが、本当に無理で無理という人と、多分できるんだけど無理と言っている人の見極めができるようになってきたので、これから私の会社では役員がどんどん増えていくと思うが、難しい問題だと思う。

(委員)

職場でいうと大学というところは、何とかしてジェンダー・バランスを図ることが経営戦略的なものでもある。本学は女性教員が多く、男女関係なくやれる仕事をやっている。みなさんの意見を聞いていて思ったが、具体的にどこの地域のどの世代のといったことが分かってくると、どういう風にお問い合わせすると女性がきてくれやすいかが違うと思っていて、世代とか地域によっては、先ほどの講義で話したポジティブ・アクションだが、明確に「女性の役員をお願いしたいです」といった風に市のほうから提案すると、女性を出さざるを得ないから動いてくれるかもしれない。ただ、地域の文化としてそういうのがおこがましいとなると、あまりマッチしないかもしれない。そのあたりは、地域の文化とどういう政策で行くのかという調整があるといいと思う。先ほどのやれるのにやらない人と本当にやれない人との話だが、国際的にいうと、日本人の場合はそもそも男女で比べたときに女性のほうが睡眠時間が少ないという珍しい国らしい。男女で比べたときに、実は家庭の中のことやり、外のこともやっている女性のほうがめちゃくちゃ働いていて、家で休む暇も男性より少ないというのは、先進国の中で日本の大きな特徴で、そういう意味では女の人に地域活動をやらせたいと思ってもそんな暇はないということが物理的にあるかもしれない。そのあたりの調整がうまくつくると女性の参加も増えるんだろうなと思う。

(会長)

地域役員というイメージがあるし、例えばコミュニティ協議会の副会長や会計なら女性がいないかもしれないが、会長や区長などトップとなると男性である。昔と比べると、時間はかかるが間違いなく女性は進出してきているという感じがしている。あの人をして良かったと思う女性が進出してくれること

がすごく大事だと思う。仕事場において男女の差は当然ないわけなので、優秀な人が上に立って引っ張ってくれるのが一番ありがたいことだ。

事務局の意見はどうか。

(事務局)

時間が経てば変わっていくと思うが、それを待っているといつまでかかるか分からないので、ある程度女性には表立ったところに進出してもらいたいと考えている。

(事務局)

実家が農家で、農業が嫌いではないが、できるかという大きな機械の操作や力仕事などがあり難しい。その辺をもう少し克服できれば女性でも農業をやっていけるのかなと思うが、なかなか難しい。

(会長)

女性と男性の体格差の話であったが、そこだけをとらえられるのか。男性と女性で根本的な体のつくりが違うというのはどうなのか。

(委員)

ずっと難しい話題としてあると思う。おそらく男女雇用機会均等法とかのときには、女性の保護をできる限り撤廃することで男女平等なんだということで進んでいったので、本当に最低限の、産前産後の休暇とかを残して、できる限り他のものを男性と女性は同じなんだという方向で今まで来たけれど、でも本当にそれで良かったのかというのは現場単位ではたくさんあるんだと思う。筋力とかの意味ではやはり男性のほうが重いものを持てるとかあると思う。でも、男性だからといって、皆が重いものを持てるわけではない。だからどんな人でも性別年齢関係なくできるようにするというのを今のテクノロジーが何とかしようとしているのではと思う。だから非常に難しい問題だ。

(事務局)

先ほど女性の登用率が低いという話をした。本市の目標は40%であるが、今までの歴史や個人の事情もあるので率が急に上がることはないと思うが、このままでは良くないということがスタートで、女性の率を上げていこうとしている。この委員会は女性が多いが、審議会等によっては20人のうち女性が1人、2人しかいないというのもあるし、市の審議会等としてそれでは良くないと感じている。市は来年20周年を迎えるが、記念事業の立案等には若い世代で男女平等の数で考えていこうとしている。それぞれの個々の事業では男性育児の話やハッピー・パートナー企業の話を見せてもらったが、全然関係ないと思われるような土木とか農林の事業でも、皆さんからいただいた意見は重要で、計画に載っている課だけではなく、全庁的に意識を変えてかないと、ただ率を上げていこうとしてもうまくいかないのではないかと感じている。

(会長)

この会は年2回あり、あと1回予定されているということなので、次回できれば今日の話进行深入掘り下げののに、誰かに聞いてみるとかして情報収集するのもいいと感じているので、また一言ずつ話を伺いたいと思う。こんなことがあったとかこんなことを考えたらどうかなどの意見でもいい。伺った話は来年度の事業に反映できると思う。こうやったらいいんじゃないのとか、こんなことであればいいとか、そういう話を求めてこの会があると思っているので、市政に反映できればいいと思う。

6 その他

(事務局)

8月5日に、(公財)新潟県女性財団と魚沼市PTA連絡協議会と共催でセミナーを予定している。6月25日号の市報に掲載するので、都合がつくようなら参加いただきたい。

7 閉会 (終了16:35)